



リアルト

<https://www.lilogg.app>

さりげなく見守るアプリ『Lilogg(リロググ)』正式リリース

～ “操作負担ゼロ” で家族の不安を軽減～

デザインとソフトウェア開発を手がける『リアルト合同会社』（東京都町田市）は、見守る側の精神的負担と、見守られる側の操作負担・監視感を同時に軽減するアプリ『Lilogg(リロググ)』を正式リリースした。

アプリ画面を「アドミン(見守る人)」と「見守られる人」で意図的に分けることで、見守られる側には複雑な操作を求めず、インストール後は基本的に触らなくてよい構造とした。詳細な動体・温度センサーを活用し、位置情報に加えて端末の動きや状態の変化を通知するため、家族のプライバシーに配慮した“さりげない見守り”が可能となる点が特長である。

主な機能として、静止・歩行・激しい動作といった端末の動き、温度や充電状態などのデータを多角的に取得し、生活リズムの変化を把握できる(特許出願中)。アラート通知はバッテリー残量、距離、画面ON/OFFなど細かく設定でき、必要な情報だけを受け取れるため「見守り疲れ」を防ぐ設計となっている。

また、過去ログの閲覧や緊急連絡先の登録、アドミンからのボイスメッセージ機能など、日常の見守りから緊急時まで幅広く対応する。

利用シーンとしては、高齢者の見守り、初めてスマホを持つ子どもの見守り、中高生からの「迎えに来てほしい」合図、外回りスタッフの状態管理などが挙げられる。特に「端末を振る」だけで意思を

伝える機能は、子どもの自立心に配慮した新しいコミュニケーションとして注目される。

リアルト合同会社は、家庭向けの普及を進めるとともに、自治体や高齢者施設、企業との連携も視野に入れている。ユーザーの声をもとに機能追加を続け、安全で安心できる社会づくりに取り組んでいく方針である。



シニアが元気になると 日本が元気になる！

元気シニア倶楽部 会員募集中!!

— 入会費・年会費なし —

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



食堂・社食・学食の会計をフルセルフ化『クックスキャン』

—— “置くだけ決済” を実現する AI 画像認識 POS ——

長野テクトロン(長野県長野市)は、AI画像認識技術を搭載した食堂・社員食堂・学生食堂向けPOSレジシステム『クックスキャン』の提供を開始した。トレーをAIカメラの下に置くだけで料理を瞬時に判定し、1秒以内に会計画面へ反映する仕組みで、短時間に利用者が集中する食堂運営の効率化に貢献する。NT-POSとラングライズ株式会社との共同開発により実現したもので、現場の課題解決を目的とした次世代型レジソリューションとして注目されている。

『クックスキャン』の最大の特長は、AIが料理の種類や盛付けを高精度で識別し、POSへの登録を自動化する点にある。導入初期から95%以上の認識精度を発揮し、利用を重ねるほど学習が進むため、日々の運用で精度が向上する設計となっている。また、食後の食器や食べ残しがある状態でもAIが判別できるため、前会計方式だけでなく、後会計方式の食堂にも柔軟に対応可能である。現金・キャッシュレス決済の双方に対応しており、混雑時でもストレスのない会計が実現する。

そのため、複雑なボタン操作は不要。新商品の登録も簡単で、料理を5枚撮影するだけで1分以内にAIが学習を完了し、即日利用できる。食器ごとに価格を設定する「食器モード」にも対応し、多様な食堂形態で活用できる柔軟性を備えている。

さらに、商品別・カテゴリ別の売上、曜日別・時間帯別の販売動向をクラウド上で確認できる売上分析機能を搭載し、外部の売上管理システムとの連携にも対応。経営面でのデータ活用を促進し、運営最適化につなげることが可能である。24時間365日のアフターサポート体制も整えており、導入後の安定運用を強力に支援する。

導入事例としては、岐阜県の電子部品メーカーの社員食堂で、昼休みの混雑が大幅に改善し、スタッフの負担軽減と運用の安定化が実現した。現場からは「レジ業務に人手を割かず済むようになり、本来の業務に集中できる」「会計がスムーズになり職場環境が良くなった」といった声が寄せられている。

『クックスキャン』は、食堂運営の効率化、人件費の最適化、利用者体験の向上を同時に実現するソリューションとして、今後さらなる導入拡大が期待されている。

<https://www.nagateku.co.jp/>

会計の自動化がもたらす人手不足解消と業務効率化

導入メリットは多岐にわたる。まず、レジ前の混雑が大幅に解消され、ピークタイムの行列を減らせることが利用者満足度向上につながる。さらに、自

動釣銭機を組み合わせることで、非接触で衛生的な会計が可能となり、つり銭ミスの削減や現金管理の効率化も期待できる。

会計業務が自動化されることでレジ担当スタッフの人数を減らすことができ、人手不足の解消にも寄与する。スタッフは本来の調理・接客に集中できるため、厨房・ホール全体の業務効率が高まる点も評価されている。

操作性も大きな魅力のひとつである。初めてのスタッフでも直感的に使えるシンプルな画面設計となっており、トレーを置くだけで会計が自動処理され



アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第98回

お墓参り代行サービス

あなたの家のお墓は何処にありますか？ 私の実家のお墓は東北地方にあり、遠いので年齢とともにお墓参りが億劫になってきました。

特に今年の夏は暑すぎてお墓参りどころか家を出るのも避けていたような状態でした。幸い、お寺の近くに親戚が住んでいるのでお墓の掃除などはしてくれていますが、その方も高齢なので、いつまでお願いできるか定かではありません。

そんな状況をどうにかしたいと思い、調べてみたら、「お墓参り代行サービス」という仕組みがあることを知りました。

サービスの内容は、お墓の表面を綺麗にしてお墓回りの草取りと掃除をし、生花・線香・ろうそく・お水をお供えて合掌、お墓参り前・

作業中・お墓参り後の写真を撮影し報告する、というのが基本のようです。

こうしたサービスを提供しているのは、各地のタクシー会社や、地元の石材店などで、なかにはシルバー人材センターが請け負っているところもあるようです。タクシー会社さんが請け負っているのは、お墓の立地が山の中でわかりにくいところもあり、運転手の土地勘を生かせると考えたからのようです。タクシー会社さんが請け負っているのが面白いと思いました。お客さんの身体を運ぶのではなく、気持ちを運んでるんだと考えたら、新しいビジネスモデルとしてもいろいろアイデアが出てきそうです。

石材店さんが請け負っている場

合は、お墓の修理まで提供してもらえるところもあるようです。

地方によってはふるさと納税の返礼品として提供しているところもあるようです。最近は墓じまいをしている方も増えているようですが、お墓がある方でお墓参りになかなか行けないと思っている方は検討してみてはいかがでしょうか？



* 画像はイメージです

Author / 林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel. 090-3682-3310

高血圧の方に知ってほしい冬の入浴リスク

ヒートショックを防ぐ安全なバスタイムのポイント

寒さが厳しくなる11月以降は、温かい湯船で体をほぐしたくなる季節である。一方で、高血圧の方は急激な温度差による「ヒートショック」に注意が必要となる。暖かい部屋から冷えた脱衣所、浴室、さらに熱い浴槽へと移動する際の温度差が血圧の急激な変動を引き起こし、意識障害や事故につながるおそれがある。高齢者の浴槽内での不慮の溺死・溺水による死亡者数は年間4,750人とされ、交通事故死の約2倍にのぼるなど、冬の入浴は大きなリスクをはらんでいる。

安全な入浴のためには、いくつかの工夫が求められる。まず、食後すぐの入浴や飲酒後の入浴は避けたい。高血圧の方は食後低血圧を起こしやすく、飲酒時は血圧が下がりやすくなるため、

入浴の影響と相まって急激な血圧低下を招くことがある。また、体調がすぐれないときや睡眠薬服用後も無理をせず控えるべきである。

次に、脱衣所や浴室を事前に暖め、居室との温度差を小さくすることが重要である。温度差の軽減はヒートショック予防の基本であり、家庭の環境に応じた工夫が求められる。入浴後の水分補給も忘れず行い、脱水症状の予防にも努めたい。

同居者がいる場合、入浴前に声をかけることも安全対策として有効である。体調急変時の早期発見につながるため、日頃から声かけを習慣化したい。入浴時の湯温は40度程度、時間は10分以

内を目安に設定し、熱い風呂や長湯は避けることが望ましい。

入浴後は血圧が下がりやすく、急に立ち上がるとめまいや転倒につながる可能性がある。降圧剤を服用している場合は血圧が下がりすぎることもあるため、浴槽から出る際は手すりや浴槽の縁につかまり、ゆっくり立ち上がることが大切である。

日本の入浴文化は疲労回復やリラックスに役立つものだが、安全に楽しむためにはヒートショックへの理解と予防が不可欠である。政府広報オンラインでは、浴室で倒れた人を発見した際の対応方法なども紹介されており、家族で確認しておくことで安心である。

情報提供社について

『CureApp』（東京都中央区）は、2014年に医師2名が創業した“治療アプリ”のパイオニアである。スマートフォンで動作する疾患治療用プログラムとして、2020年に日本初・世界初の薬事承認と保険適用を実現した禁煙治療アプリを皮切りに、高血圧・減酒治療の領域でも治療アプリの承認を取得し、医療機関での導入を進めている。現在はNASH、がん、慢性心不全、慢性腰痛症など幅広い疾患に対応するアプリ開発にも取り組み、デジタル治療の未来を切り拓く存在だ。

さらに、民間法人向けの禁煙支援や健康増進サービス『ascure モバイルヘルスプログラム』や『ascure Dr. 高血圧』も展開し、多くの企業・健保組合で採用されている。高血圧治療補助アプリ**は医師が処方する医療機器として認められており、生活習慣改善を自宅で継続できる点が評価されている（1～3割負担で利用可能）。

* 自社調べ（2020年12月）

** 販売名：CureApp HT 高圧治療補助アプリ／承認番号：30400BZX00100000



www.flanet.jp

「食」を真剣に考えるひとのための資格！

食生活アドバイザー®の活躍のフィールドはとっても広い

- 生産、流通、販売などの現場で
- 医療、福祉などの現場で
- 飲食の現場で
- 学校、家庭などで

食生活アドバイザー

検索

フリーダイヤル 0120-86-3593 TEL 03-3371-3593



一般社団法人

FLAネットワーク協会 (Food & Lifestyle Adviser)

食生活アドバイザー® 検定事務局